

社会科 休校チャレンジ問題

1 次の文章は、下の図1と図2に示された世界遺産の写真について説明したものである。あとの問いに答えなさい。

図1は、(①)にある大聖堂を写したものである。カトリック教会の総本山であるこの大聖堂の改築のために(②)が売り出されたことへの批判から、宗教改革が始まった。

図2は、南アメリカ大陸に栄えた(③)帝国の遺跡を写したものである。高度な石造建築の技術など、独自の文明をもったこの国は、スペインによって征服された。



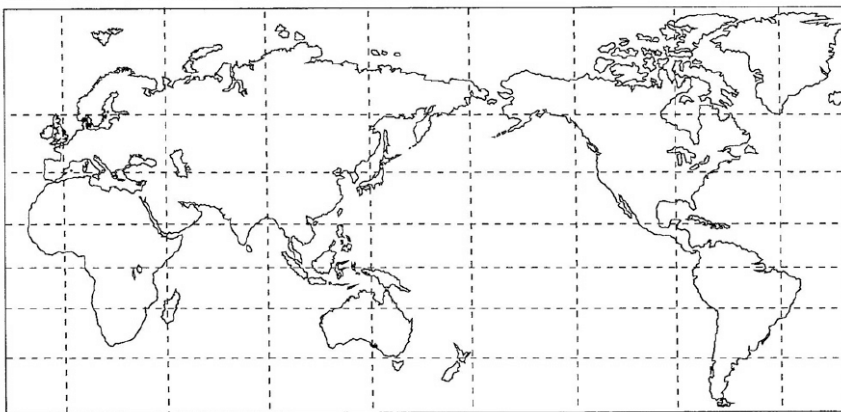
(1) 文章中の(①)、(③)にあてはまることばの組み合わせとして最も適当なものを、次のア～エまでのの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

- ア ① メッカ ③ アステカ イ ① バチカン市国 ③ アステカ
ウ ① メッカ ③ インカ エ ① バチカン市国 ③ インカ

(2) 文章中の(②)に当てはまる語句を、漢字3字で答えなさい。

2 図を見て、あとの問いに答えなさい。

I 経線と緯線が直角に交わるように描いた略地図



II 世界の各州の人口の推移と人口予測

(単位 百万人)

州名 \ 年	1990	2000	2010	2020	2030	2040	2050
アジア州	3 213	3 717	4 165	4 582	4 887	5 080	5 164
ヨーロッパ州	723	729	740	744	736	724	709
アフリカ州	630	808	1 031	1 312	1 634	1 999	2 393
北アメリカ州	432	493	549	603	652	692	723
南アメリカ州	296	348	394	435	468	491	505
オセアニア州	27	31	37	42	47	52	57

(総務省統計局「世界の統計 2013」による)

Ⅲ 世界の各州の15歳未満人口の全人口に占める割合の推移と予測 (単位 %)

州名 \ 年	1990	2000	2010	2020	2030	2040	2050
A	44.5	42.4	41.1	39.8	37.1	34.6	32.2
南アメリカ州	35.3	30.9	26.9	23.2	20.7	18.6	17.1
B	34.0	30.5	25.4	23.5	20.9	19.0	17.9
北アメリカ州	27.3	25.9	23.5	21.7	20.3	19.0	18.2
オセアニア州	26.7	25.7	24.0	23.5	22.2	21.0	20.4
C	20.5	17.6	15.4	16.0	15.3	14.9	15.4

(国際連合人口部「World Population Prospects, The 2012 Revision」をもとに作成)

Ⅳ 世界の各州の65歳以上人口の全人口に占める割合の推移と予測 (単位 %)

州名 \ 年	1990	2000	2010	2020	2030	2040	2050
C	12.7	14.7	16.3	18.9	22.4	25.0	26.9
オセアニア州	9.1	9.9	10.7	13.0	15.3	16.9	17.9
南アメリカ州	5.0	5.8	7.0	9.2	12.6	15.9	19.9
B	5.0	5.8	6.8	8.8	11.6	14.9	17.4
北アメリカ州	4.9	9.0	9.5	13.5	16.8	18.9	20.4
A	3.2	3.3	3.4	3.6	4.1	4.7	5.9

(国際連合人口部「World Population Prospects, The 2012 Revision」をもとに作成)

- (1) 次の文は、ある緯線について説明したものである。この緯線と本初子午線を、それぞれ略地図中の破線になぞって実線で書きなさい。

この緯線上を本初子午線と交わる地点から東に向かって進むと、熱帯雨林気候の地域を通過し、世界三大洋の1つに達する。さらに東に進むと、アジア州で3番目に人口の多い国を横断し、太平洋に出る。太平洋を横断して到達した大陸において、アマゾン川の河口付近を通過してさらに大西洋上を東に進み、元の地点に戻る。

- (2) Ⅲ、Ⅳの表中のCの中に位置する国について述べた文として最も適当なものを、次のア～カまでのの中から選び、記号で答えなさい。

ア ロシアに次いで世界で2番目に面積が広いこの国では、国民の多数はイギリス系住民であるが、フランス系住民も多いことから、英語とフランス語が公用語となっている。

イ アルプス山脈の山岳地帯であるこの国では、乳牛やヤギなど飼育して、バターやチーズなどの乳製品を生産する酪農がさかんに行われている。

ウ アンデス山脈の中央部にあるこの国では、作物の育たない標高 4000 メートルを超える地域において、リャマやアルパカの放牧が行われている。

エ 南北に伸びるマレー半島などに位置するこの国では、天然ゴムやコーヒーなどを大規模に栽培するために植民地時代にプランテーションが開かれた。

オ 大陸の南端に位置するこの国では、20世紀末までアパルトヘイトとよばれる人種隔離政策とってきたが、現在は廃止され、すべての人種が共存できる社会の実現を目指している。

カ 2011年において人口の3倍以上の羊を飼育しているこの国では、先住民族のアボリジニーが住んでおり、国内には彼らが聖地としている山がある。

(3) 海に関して述べた次の文中（ A ）、（ B ）にあてはまる言葉と数字の組み合わせとして最も適当なものを、下のアからカまでの中から選んで、記号で答えなさい。

排他的経済水域とは、（ A ）の外側のうち、海岸線から（ B ）海里以内の水域のことで、沿岸国は、その水域における資源を自国のものにすることができる。

- ア A 領土、B 12 イ A 領海、B 12 ウ A 公海、B 12
 エ A 領土、B 200 オ A 領海、B 200 カ A 公海、B 200

3 次のⅠの表、Ⅱの略地図、Ⅲのグラフ、Ⅳの表は、生徒がインド、オーストラリア、中国、ブラジルの4国について調べ学習をした際にまとめた資料の一部です。あとの(1)、(2)の問いに答えなさい。

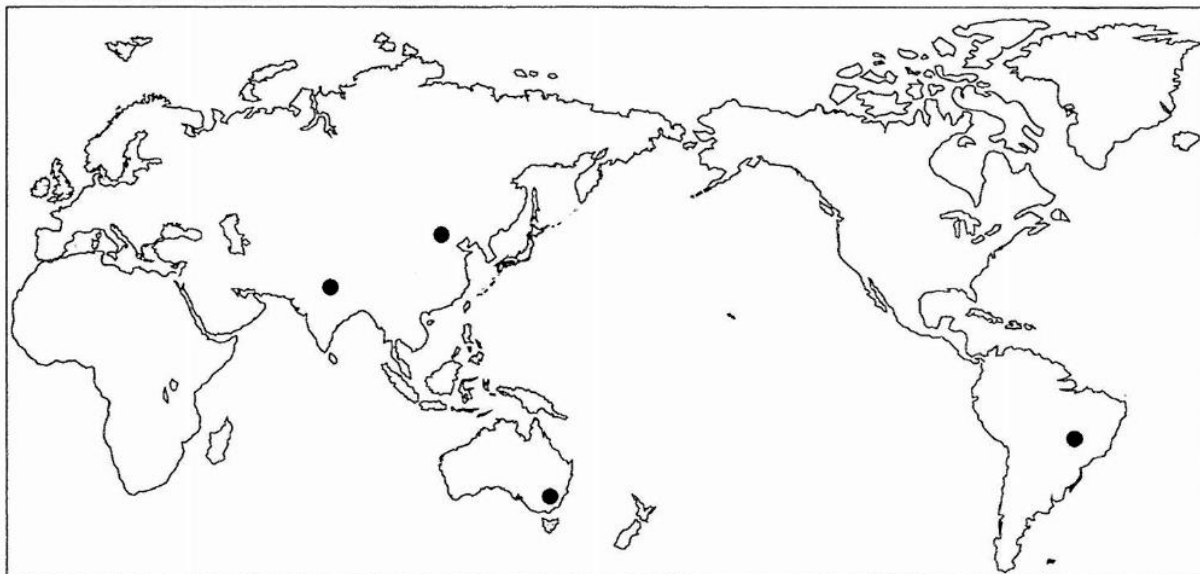
なお、ⅠおよびⅣの表中A、B、C、Dには、それぞれ同じ国名があてはまる。また、Ⅱの略地図中の●は、4国の首都の位置を示したものである。Ⅲのグラフは4国の首都の月別平均気温と月別降水量を示したものであり、a、b、c、dは、4国の首都のいずれかである。

Ⅰ 4国からの日本の輸入額

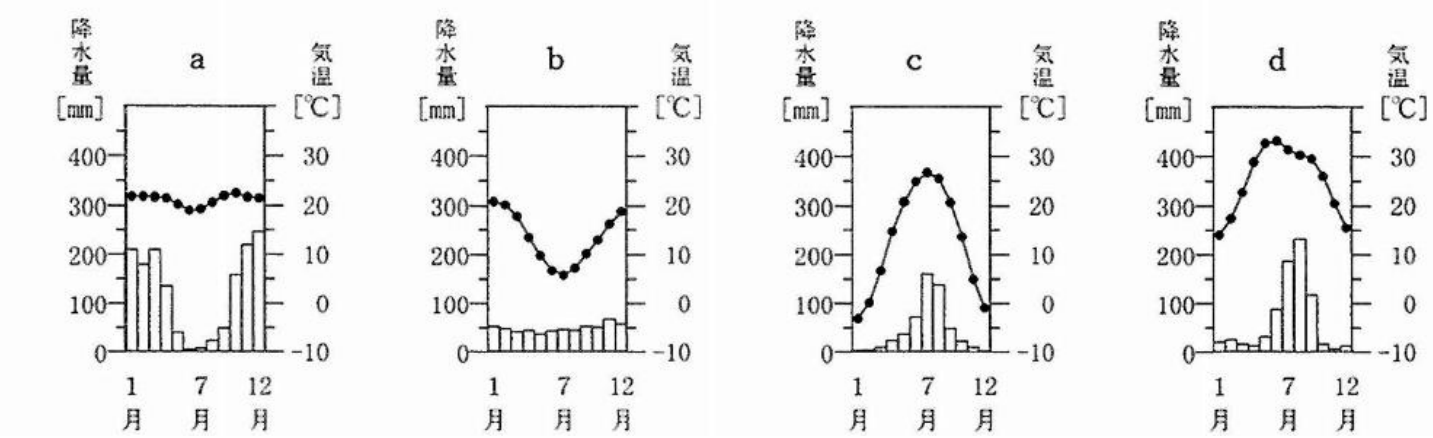
(単位 百万円)

順位	A	B	C	D
1位	機械類 7 916 299	石炭 1 483 645	鉄鉱石 479 815	石油製品 270 086
2位	衣類 2 423 448	液化天然ガス 1 354 013	とうもろこし 129 998	有機化合物 54 108
3位	金属製品 516 290	鉄鉱石 990 596	肉類 105 017	魚介類 41 904
4位	家具 404 619	肉類 161 015	コーヒー 59 368	ダイヤモンド 39 056
5位	がん具 400 686	銅鉱 136 069	アルミニウム 41 839	飼料 32 806
その他	5 998 650	851 581	253 627	252 306
輸入総額	17 659 992	4 976 919	1 069 664	690 266

Ⅱ 4国の首都の位置を示した略地図



Ⅲ 4 国の首都の月別平均気温と月別降水量



Ⅳ 4 国の綿花生産量，牛肉生産量，小麦生産量，国土面積に占める農地の割合

国名	綿花生産量 (千 t)	牛肉生産量 (千 t)	小麦生産量 (千 t)	国土面積に占める 農地の割合 (%)
A	6 583	6 182	117 410	54.0
B	844	2 110	27 410	51.5
C	1 673	9 030	5 690	32.1
D	5 984	1 087	86 874	54.7

(注) 牛肉には、水牛肉を含まない。

(「世界国勢図会 2013/14年版」をもとに作成)

(1) Ⅲの a、b、c、d のグラフのうち、ⅠおよびⅣの表中の A、C の首都の月別平均気温と月別降水量を示したものはどれか。その組み合わせとして最も適当なものを、次のアからシまでのの中から選んで、記号で答えなさい。

- ア A : a イ C : b ウ A : a C : d
エ A : b オ A : b、C : c カ A : b C : d
キ A : d ク A : d、C : b ケ A : d C : c

(2) 次の文章は、ⅠおよびⅣの表中の A、B、C、D のいずれかについて述べたものである。文章中の (①)、(②) にあてはまることばの組み合わせとして最も適当なものを、下のアからカまでのの中から選んで、記号で答えなさい。

この国は、国土面積に占める農地の割合が 50% を超えるが、(①) の表 A、B、C、D の 4 国のうち最も少ない。これは、国民の約 8 割が古くから (②) を信仰していることとかわり深いと考えられる。

- ア ① 綿花生産量 ② ヒンドゥー教 イ ① 綿花生産量 ② 仏教
ウ ① 牛肉生産量 ② ヒンドゥー教 カ ① 牛肉生産量 ② 仏教
オ ① 小麦生産量 ② ヒンドゥー教 キ ① 小麦生産量 ② 仏教

4 次のA、Bのカードは、それぞれ、わが国のある時代の人々の生活についてまとめたものである。あとの(1)から(4)までの問いに答えなさい。

A ①奈良時代には、人々の納める税の一部が都に集められた。その結果、貴族の暮らしは豊かになったが、庶民は重い税に苦しんだ。

B この時代も半ばになると、社会が乱れ、人々の不安が高まってきたことなどから、都を中心に②浄土真宗が広まり、貴族から庶民まで受け入れられた。

(1) 次の文は、①奈良時代半ばの出来事について述べたものである。文中の（ ）にあてはまる最も適切なことばを、漢字7字で答えなさい。

人口が増えて口分田が不足してくると、朝廷は人々に開墾を進めるため、新しく開墾した土地であれば、永久に土地の所有権を認める（ ）を出した。

(2) 次の写真は、浄土真宗が広まったところに建てられた、わが国を代表する阿弥陀堂を映したものである。この建物が建てられた年代よりあとに起こったできごとについて述べた文を、下のアからエから1つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 壬申の乱に勝利した人物が即位し、天皇を中心とする中央集権国家の建設をすすめた。
- イ 保元の乱、平治の乱に勝利した人物が、政治の実験をにぎり太政大臣に就任した。
- ウ 長岡京に都を移した天皇が、次いで平安京に都を移して政治を立て直そうとした。
- エ 冠位十二階の制度を定めた人物が、仏教や儒教の教えをもとづく十七条の憲法を制定した。

(3) 次のアからオまでの文は、それぞれ、わが国のある時代の人々の生活について述べたものである。これらの文は下の年代の古い順に並べたとき、2番目と4番目になる文の記号をそれぞれ答えなさい。

- ア 植物の採集や、オオツノジカ、ナウマンゾウなどの狩猟により食料を獲得した。
- イ 律令にもとづいて、6年ごとに作成される戸籍に登録された。
- ウ 油の原料である菜種、あいや紅花などの商品作物の栽培が広まった。
- エ 洋服を着たり、牛肉を食べたりするなど、衣食の変化は始まった。
- オ むらに水田をつくって住み、銅鏡や銅鐸を祭りの道具として用いた。